

ロハスな南科 悠々人生



▲南科国際実験高等学校校舎新築工事起工式

南科教育新天地 科学技術が国際で 輝く

南科国際実験高等学校は初等部41クラス、中等部23クラス、バイリンガル部11クラス、高等部3クラスの計78クラスで、学生数は2,173人に達します。そのうち高等部は2008年に正式に設立され、南科教育環境の新しい1ページを開きました。全校を挙げて国際レベルの教育を提供し、園区事業機構、投資企業、政府機関、学術研究機関で働く人々や海外からの帰国者の子女の就学ニーズに応えることができ、その教育の成果も優秀で、各界から高い評価を受けている。

高等部を正式に設置
学校建設の完全な青写真
高等部第一期生募集

南科国際実験高等学校高等部は2008年から生徒募集を開始し、第一期生は3クラス計90名、最低入学合格

点は260点、学力測定の成績がPR \times 92以上の学生が2分の1以上を占めるなど、素晴らしい成績でした。南科国際実験高等学校は国際的な視野、未来志向の教育ビジョンと南科の豊富な産学資源で、台南県市の優秀な学生たちの第一志望校となりました。

南科国際実験高等学校高等部 建築用地の収用、及び校舎新築 工事が着工

高等部に必要な環境空間を確保するために、南科管理局は2008年に高等部用地の収用関連作業を完了しました。収用面積は4.3161ヘクタールで、校舎の新築工事は2008年9月4日に着工しました。起工式は陳俊偉局長と南科国際実験高等学校戴旭璋校長が主催し、大勢の来賓が来場しました。2010年2月末までに行政教学ビルと学生宿舍、2010年8月末には体育館、図書情報ビルなどの建物が完成する予定で、これらが竣工すれば、幼稚園、小学校、中学、高校、バイリンガルと、各教育段階を全てカバーする優良



▲科学キャンプの知的で面白いゲーム



▲高等部英語サマーキャンプ修了式での成果発表



▲高等部夏の科学キャンプ物理実験



▲国立南科実験中学校校長戴旭璋(右)とPTA会長黄丙雄(左)は新高校一年生を引き連れて南科サイクリングツアーを行う

校になるという南科国際実験高等学校建設の青写真が全て完成することになります。

未来志向の視野 多元教育とコンテスト

学生に学習に対する興味を持たせ、南科国際実験高等学校の教育と環境の特色を知ってもらうため、高等部では科学サマーキャンプと英語サマーキャンプを行っています。創意工夫あふれるカリキュラムや科学園区参観で、科学実験や園区の工場・実験室の見学を経験させ、アメリカの大学生の協力を得て、学生に英語を話す自信がつくよう努めています。また、「数学週間解答コンテスト」、「遠哲科学コンテスト校内予選」、「NASA科学家テレビ電話遠距離教育」、「化学能力コンテスト」、「ゼロレジスタンス時代を迎える」講座等の活動を行っているほか、「模擬国連」、「ノーベル受賞者との対話」等のイベントに学生を参加させています。



▲高等部学生が国家高速計算センターでNASAの科学者とテレビ電話でつながってる



▲高等部の学生が中山大学にて遠哲科学コンテストに参加最優秀アイデア賞獲得後に撮影

PBL教室、実験設備を設置

伝統的な学習法とは異なった革新的な教育方法を確立するために、特にPBL(Project-based Learning)教室を置きました。中には30台のノートパソコン、無線LANなどを設置してM化空間を作り、特別教育ソフトを組み込んだ以外に、物理、化学、天文、生物の実験器材、設備や書籍を購入し、教師たちの創意工夫を促すとともに、学生が研究討論や発表を行うための空間を与えています。

遠哲科学コンテスト南区予選で最優秀アイデア賞受賞

南科国際実験高等学校高等部第一期生である1年生は2008年11月に国立中山大学の「第14回遠哲科学コンテスト」の南区予選に参加しました。「楽しい磁動力」、「生生不滅」、「吸え吸えポンプ」、「潜水艦多多」などの様々な種目において学生達は科学原理を生かし、自らの手でモノを作る能力を発揮して、初参加ながら最優秀アイデア賞を獲得した。

国際教育を推進、世界を目指して インターナショナルウィークの開催

学生たちに東西文化の違いを体験させ、各国に対する理解を深め、国



▲インターナショナルウィーク先生が学生を連れて展示会を見学



▲インターナショナルウィーク-美食展の開幕のためにバイリンガル部の子供たちが各国の伝統的な服装でパフォーマンス

際的視野を広げるために、2008年5月上旬に全校で「インターナショナルウィーク」活動を開催し、多種多様で豊富な活動を企画しました。また、学生たちに今回のイベントで学習したことを記録してもらうために「インターナショナルウィーク活動ハンドブック」を用意しました。期間中は、多元文化交流と教育成果の展示、オリンピックを知ろう、世界各国の文物展、硬貨切手展、仮面展、地球の子供「1CMの鉛筆の芯」テーマ展、図書展、国際美食展など、様々な活動が催されました。

ロハスな南科 悠々人生



▲初等部の芸術講義はウェブを通じてアメリカの小学校と交流し撮影した



▲南科国際実験高等学校学生がオーストラリアで現地の学校の活気溢れる運動会に参加

初等部芸術学科が持続的に国際交流を実施

初等部の芸術クラスがアメリカの小学校と交流するようになって、すでに3年目になります。2008年の芸術交流テーマは「祭日」で、アメリカミズーリ州Villa Duchesne/ Oak Hill Schoolの学生が、まずEメールでハロウィンの感想と写真を披露しました。初等部の学生は2008年12月11日のテレビ電話で、様々な方法で台湾の三大伝統行事である「春節(旧正月)」、「端午節」と「中秋節」をアメリカの学生たちに紹介しました。アメリカの学生も自分の英語名のサインを中国語にして美術作品に入れ、会場には歓声が上がりました。学生たちが自分たちでも海外の友人たちとEメールをやり取りし合うなど、国を越えた交流が始まっている。

オーストラリア交換学生英語研修

学生の国際観と英語力を養成するために、2008年の夏休みに再度オーストラリアのクンシランド州政府教育部国際教育局と提携、南科国際実験高等学校の3年生から9年生の学生がクイーンズランド州Varsity Collegeのキャンパスに送られ、同年齢のオーストラリアの学生と勉強、生活を共にしました。完全に異国の環境に溶け込み、オーストラリアの生活を体験した。

アメリカミズーリ州Hannibal高校の教師と学生が来訪

2007年の夏、中等部の教師と学生がアメリカミズーリ州Hannibal高校を訪問しました。2008年7月中旬にはHannibal高校の教師と学生10



▲アメリカミズーリ州Hannibal高校教師と生徒が南科考古博物館を見学



△国際交流「全臺首學」孔子廟の前にて撮影

人が来台し、南科国際実験高等学校の教師と学生、ホストファミリーは熱烈な歓迎をし、もてなした。国家ナノ部品実験室と南科考古陳列室の見学から、安平古蹟を巡り、「全臺首學（孔子廟）」の儒風を仰ぐなど、アメリカの友人たちを案内して南科を紹介し、台湾の風土人文を体験してもらったことによって、お互いに文化交流を図ったほか、暖かい友好関係を作り上げた。

アメリカミズーリ大学と提携して教師の専門ワークショップを開催

夏休みには“Nanke Professional Development”教師専門発展ワークショップを行いました。これは、アメリカミズーリ大学(University of Missouri-Columbia)から招待したLaura Wedman博士の企画、進行の下、2008年8月13日から4日間にわたって開かれたもので、インターネット探索とネット化、概念図の紹介、そして、実際の操作練習と成果発表などが行われ、教師たちは今現在の国際された教育知識が得られた。

科学と人文を共に重んじる教育活動

読書を推進し、教育の基礎を固める

全校で読書を推進するために、南科国際実験高等学校は読書4年計画を策定し、図書購入に240万円を支出したほか、読書作文に関する研

修を開催して、読書の普及、クラスでの読書会運営に当たる教師のサポートを行いました。

初等部は2007学年から毎日の読書の習慣をつけさせる取り組みを開始し、また、毎週金曜日は全校で早朝読書運動を実施しています。そして、2008年からは、推薦図書リストを作成し、読書パスポートを配布するとともに、図書館宝探しゲーム、ブックフェア、夏休みと冬休みの読書作文活動などを行って学生の読書の質を高め、読書の楽しみを知ってもらえるよう努めています。

中等部も2008年を「南科深読年」として「おはよう! My Book」計画を推進し、定期的に図書リストを出し、学級文庫を置き、毎週月曜の朝30分間を読書の時間と定めるなどの取り組みを行っています。

引き続き中等部CTIエリート教育方案を展開

中等部CTIエリート教育方案は従来のカリキュラムのほか、学内科学展示で学生の科学的思考の動機付けをしたり、自然科学分野の教師多数



▲中等部CTI教育PBLプログラムのテーマ発表

の献身的な指導の下で実験計画、グループディスカッション、実験操作などを行わせることで、学生が優秀でアイデアに満ちた作品を生み出してくれることに期待しています。

初等部管楽器楽団の誕生

父兄会の熱烈な支持と初等部の計画推進によって、管楽器楽団が2008年3月に誕生しました。管楽器楽団は設立後、2008年の台南県学生音楽コンクールで良い成績を残しただけでなく、南科管理局主催の中秋節やクリスマス会にも出演し、2008年11月16日の台南大学管楽団ツアーコンサートでも演奏するなど、素晴らしい成果を収めています。

教学面でも優れた成果

2008全国アイデア教案コンテスト～初等部の教師が優等賞を獲得

初等部教師の顔百鴻、王裕中、鄭碧招の3人が計画、実施した教育プログラム—「超時空故事成語達人」は中華アイデア発展協会が主催した「Great Teach 2008全国アイデア教学賞」で国語組の優等賞を受賞した。これは「故事成語」を中心としたオンライン学習プログラムで、教科書に出ていない多数の故事成語が実際の生活でも応用可能な形で効率よく学べ、学生の故事成語運用能力の向上に効果があります。



▲初等部管楽団がコンクールで素晴らしい演奏